

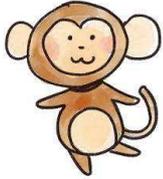
こどもとしょかんだより

第33号

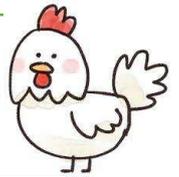
2016年12月1日発行

とんしょうちようりつちゆうおうとしょかん
土庄町立中央図書館

小豆郡土庄町湊崎甲1400-1 ☎ (0879) 62-0273



としょかんカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	<7>	8	9	10
11	12	13	<14>	15	16	17
18	19	20	<21>	22	23	24
25	26	27	<28>	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	<4>	5	6	7
8	9	10	<11>	12	13	14
15	16	17	<18>	19	20	21
22	23	24	<25>	26	27	28
29	30	31				

■ やす よる
はお休みです。<>は夜7時まであいています。



としょかん
図書館でできるよ!こんなこと

12月

1月

「おはなし会」 3日(土)10:30~ 7日(土)10:30~
「おりがみ教室」 10日(土)10:00~ 14日(土)10:00~

12月だけのイベント

「古本市&リサイクルバザー」 3日(土)・4日(日)
「図書館の達人教室」 10日(土)・17日(土) 14:00~
「クリスマス会」 18日(日) 10:00~
「映画会」【笠地蔵ほか昔ばなし】 18日(日) 14:00~
「一日図書館員」 24日(土) 達人さんたちに会いに来てね!

1月だけのイベント

「みんなであそぼっ!!」 21日(土) 10:00~



ねんまつねんし としょかん やす
年末年始、図書館もお休みです。

12/29日(木)~1/3日(火)

やす あいだ へんきやく かえ
お休みの間は、返却ポストへ返すのはやめようね。

読んでみて！この本ダイスキ！！



よみものから

「スプーンは知っている」

新藤 悦子 (作)・平澤 朋子 (絵)

3年生のかなめちゃん、毎日の日課は おとなりの
カフェ「ビーンズ」への 寄り道。そこには大好きな
仲間がいるから。カフェには ふしぎな人形・
タママさんがいて、かなめちゃんは おはなしをす
ることができます。

でも気になることも あるんです。花豆ばあばが
なくなってしまってから、ずっと しかめっ面の
豆吉さん…タママさんに相談してみると、「おいしい
ものを 食べれば、笑顔になるんじゃない？」と。

さて、豆吉さんの笑顔は見られるのかしら？
おとなだって作ってみたいくなるレシピつき！！

(木下)

えほんから

「きょうりゅうがすわっていた」

市川 宣子 (作)・矢吹 申彦 (絵)

きみをうむために ママが入院していた時、
マンションの外に きょうりゅうが やってきた。

きょうりゅうは 何日も何日も ただじっと
していた。

なんでかっていうと、きょうりゅうも
あかちゃんを まっていたんだ。

クリスマスがきて きみのために買ったツリーを
見せていたら、きょうりゅうのあかちゃんが
うまれた！

そして同じ日に きみもうまれたんだよ。

二人にハッピーバースデー！

そして メリークリスマス！

(山本)

今年もがんばってるかな？

「としょかんクイズ」⑤

クイズと読書に挑戦だ！！

1年間がんばるとうれしいことが待ってるよ！



一日図書館員の人みなに会うことができたかな？

きっとみんなもやってみたい図書館のお仕事のひとつ。
本の貸出のお仕事。2つのバーコードを「ピッ！」と
通します。借りたいものについているバーコードと…？

みんなが図書館のものを借りる時に使うカードの
名前はなにか？また、ひとり何枚カードを持てる？？



町内の保育所・幼稚園・幼稚園・
子育て支援センターの先生に
おすすめ本を紹介して

いただきました。

なつかしい先生たち！

何をすすめてくれているかしら？

ぜひ読んでみましょう！

読んで楽しかった本、読めてよかったという本と
いっしょに教えてね。

10月号 (第32号) の答え

黄色いラベルがついている本は、ライオンズ文庫です。

毎年小豆島ライオンズクラブさんから「子どもたちに本を！」と
ご寄贈いただいています。今年でなんと45年！

今までのものも考えると本当にたくさんの本をいただいています。

ラベルにも注目してみてくださいね。



図書館職員からもおすすめします！

『ふうふうぼんぼんぼん』(水谷 章三 (文)・杉浦 範茂 (絵))

むかしむかし あるやまのおてらに おしょうさんと ちんとんさんという
こぞうさんが いやはって、ね。

くいしんぼで けちんぼのおしょうさんと ちんとんさんの かけあいが
たのしい みんなの絵本。ふうふうぼんぼんぼん…さて、なあに？

(木下 明子)



『ひともじえほん』(近藤 良平 (作)・山本 直明 (写真))

ひともじを してるかい？ からだで もじをつくってみよう！

ひとりで！ふたりで！！…みんなで！！

ふゆやすみ、かぞくみんなで ためしてみると からだも ほかほか あったまります。

(木下 明子)



『だいじょうぶ だいじょうぶ』(いとう ひろし (作・絵))

ぼくと おじいちゃんは 毎日さんぼする。ぼくが 小さいあいだは おじいちゃんが
いろいろおしえてくれて、かばってくれた。

「だいじょうぶ だいじょうぶ」って。

そして今、ぼくは 大きくなって おじいちゃんは 年をとった。

今度は ぼくが おじいちゃんの手を にぎっている。

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

心がじーんとする絵本です。



(山本 和子)

『おおきいサンタとちいさいサンタ』(谷口 智則 (作・絵))

大きいサンタと 小さいサンタが プレゼントを 配り終えて帰宅すると、

それぞれに 手紙が届いていました。どちらも プレゼントのお願いなのですが…、

ふたりは 生まれて初めて 話をしました。さて、何と書かれていたのかな？

(高田 宏美)



『十二支のどうぶつ小断』(川端 誠 (作))

川端さんのユニークな絵による十二支のどうぶつにちなんだ小断集。

例えば「ねずみ」

わかい男ふたりが、つかまえたねずみを「大きい」「小さい」と

言い合っていましたら、ねずみがひとこと言いました。

「中(チュウ)」

オチがわかるかな…？

読みながら先のことを考えてしまう絵本です。

お、なるほど！と思える小断、お友だちにもしてあげてね。

(高橋 美春)

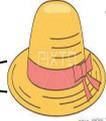
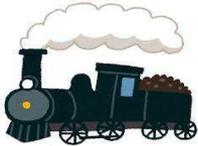


『ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ』(工藤 ノリコ(著))

『ほんとはダメだけど…でもきになっちゃう、やってみたいなあ。』
そんな誰もが一度は思ったことをノラネコぐんだんたちはやっちゃうんです!!
かっこいい物やおいしいそうな物を見つけると「にゃー、たべてみたいね」と呟き、
誰もいない間に考えを出し合って行動に移します。
しかし!必ず最後には失敗して見つかってしまうというオチ(笑)があり、その
場面を見るといつも笑いが出ます。

ノラネコぐんだんのように意欲が湧き、いろんな事にも挑戦したくなる、みんなで
協力することの大切さが感じられる絵本です(*^_^*)

(社会福祉法人聖愛財団 土庄保育園 中塚 朱乃先生)



『でんしゃにのって』(とよた かずひこ(作))

うらちちゃんが でんしゃにのって おばあちゃんのうちへ ひとりで でかけます。
がたごとー がたごとー
「つぎは わにだー わにだー」のってきたのは わにでした!
つぎにのってくるのは だれかな? ページをめくるたびに どきどき!わくわく!
ほのぼのとしたところがあたたかくなるおはなしです。

(子育て支援センター 川田 澄子先生)



『どんぐりころちゃん』(みなみ じゅんこ(作))

(正高 もとこ(作・絵))

誰もがどこかで 一度は耳にしたことがあるような 優しいメロディーの
どんぐりの わらべうた絵本です。
子どもたちの 好きなどんぐりが、もっと身近に、もっと好きになること
まちがいなし。みなみじゅんこ作と 正高もとこ作の 2冊があります。どちらも
あたたかい絵です。どの年齢にも おすすめですが、0.1.2才(に読んであげるの)
なら、みなみじゅんこ作が おすすめです。(愛の園保育所 T. I. 先生)



『おべんとうバス』(真珠 まりこ(作・絵))

「バスにのってください」から始まる 1ページ目の 赤いバスに
「ハンバーグくん」と言うと、「はい」と 子どもたちが 元気よく返事をします。
大好きな食べ物 が 次々と出てきて、最後に まだ来ていない みかんちゃんを
心配そうな顔で 待っています。読み手と 子どもたちの やりとりが 楽しそうです。

(双葉保育所 美山 悦子先生)



ようちえん せんせい ほん
幼稚園の先生からおすすめ本



『うさぎましろのお話』(佐々木 たづ (ぶん) ・ 三好 碩也 (え))

クリスマスがちかづくと、おもいだす、白うさぎの子“ましろ”のおはなし。
プレゼントをめぐって、ましろの ちいさなうそからはじまる ものがたりです。

わたしは、うさぎの子が いっしょうけんめいに ゆきをほって、土に あなをあけて
たねを おくところが すきです。なんども よみたくなる ばめんです。

かわいい うさぎの子の おはなしよんでみてね。



(**刈崎幼稚園 佐々木 明美先生**)

『おじいちゃんのごらくごらく』(西本 鶏介 (作) ・ 長谷川 義史 (絵))

おじいちゃんと かぞくの ところあたたまる ものがたり。

たのしくて ちょっとさみしいけれど、あったかいきもちになって
かぞくはいいなあと かんじられる おはなしです。



(**刈崎幼稚園 福岡 美恵子先生**)

『あんたがサンタ?』(佐々木 マキ (絵))

「え?こんなサンタがいるの?」と 思わずクスッと 笑ってしまう ユーモラスな
サンタが登場します。幼稚園の子どもたちも 大好きな絵本です。絵本を 一緒に
楽しみながら 読み聞かせをしてくれていた母のことを 思い出します。

寒い冬には絵本を 開いて、心 温まる時間をつくってほしいなと思えます。



(**土庄幼稚園 曾我 早央里先生**)

『おいしいのぼうけん』(古田 足日 (作) ・ 田畑 精一 (画))

お昼寝前に ミニカーのとりっこで けんかした さとしと あきは、先生に おしいれに
入れられてしまいます。ふたりは 可愛いねずみばあさんに 追いかけて…

「わーっ!」と 目をおおいながらも「もっと読んで」と、子どもたちはおはなしの 世界に
ひきこまれていきます。読み終わると、絵本貸出の 順番待ちの できる人気の本です。

(**四海幼稚園 藤原 賀織先生**)



しかいようちえん ふじわらせんせい
四海幼稚園・藤原先生からは・・・

ゾロリ好きの男の子との思い出も

エッセイとしてお寄せいただきました。

としょかんだより1月号で紹介します! お楽しみに!!



ようじえん せんせい ほん
幼稚園の先生からおすすめ本

『ほげちゃん』（やぎ たみこ(作)）

あおいカバのぬいぐるみ、ほげちゃん。まいにちひっぱられたり ぶんづけられたり、その上よごれてるからって お出かけまで 留守番することになっちゃって もうカンカン！ それに「だいたいほくは カバじゃなくって くまなのに！」

ついにほげちゃんが 大あばれ！ おもしろくて でも最後は ほっこりするお話です。

(大部幼稚園 三木 千秋先生)



『どんなにきみが好きだかあててごらん』

(サム・マクブラッドニィ(作) / アニタ・ジェラーム (絵))

ちいさいノウサギと おおきいノウサギが お互いのことを どれくらい好きか言い合います。2匹のノウサギが お互いに向ける 表情や 動きがとても豊かで、短い言葉の中に愛情をいっぱい感じるができます。相手を思う気持ちや 相手に思われることの喜びが伝わってくる絵本です。

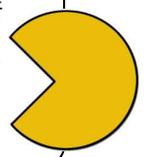
(北浦幼稚園 山本 遥先生)



『もこもこもこ』(谷川 俊太郎 (作) / 元永 定正 (絵))

空と 地面の絵から始まります。急に地面が盛り上がったかと思えば、ページをめくるとに次々と起こる 驚きの展開。出てくる言葉は「もこ」や「によき」といった擬音ばかりですが、子どもたちは すぐにこの絵本の世界に 引き込まれます。「しーん」から「もこ」となった瞬間、世界は動き始めます。不思議な世界をのぞいてみませんか。

(北浦幼稚園 田中 聖子先生)



『ふわふわふとん』(カズコ・G・ストーン (作))

やなぎむらに 冬が来て、冬を越すために 虫たちが暖かい布団を 探しに出かけるお話です。このお話は シリーズになっていて、アリや クモ・カタツムリと 小さな虫たちが できます。どの虫も 友だち思いで やさしく、力を合わせて 困ったことに 立ち向かっていきます。読んでいて 虫たちの気持ちが 伝わり、ハラハラしたり ほっとしたりと 一緒に冒険をしている 気持ちになります。春・夏・秋とあり、どの絵本も おすすめです。

(大鐸幼稚園 出水 紀子先生)

